



堺市議会議員  
青谷 ゆきひろ  
市政レポート  
R7.vol.2  
☆プロフィール☆

◆堺市立東陶器小学校卒・堺市立泉ヶ丘東中学校・大阪府立堺東高校卒・1984年桃山学院大学経済学部経済学科卒・文教委員会委員・孤独・孤立社会対策調査特別委員会委員・堺市環境審議会委員・国際正道一空手連盟FIKA 正道会館青雲会 会長

皆さん、こんにちは！堺市議会議員の青谷幸浩です。  
物価の高騰は現代社会において深刻な問題となっています。特にガソリンやお米といった日常生活に欠かせない品目の価格上昇は、家計に大きな負担をもたらしています。これにより、多くの家庭が厳しい生活を強いられています。政府は、減税政策、物価安定策などを通じて、国民の生活を支援する必要がありますが、政府自民党は消費税減税も名言せず、ガソリン暫定税率も財源無しとその気無し。国の新年度予算においては、一番安上がり（約6,000億円）の日本維新の会が掲げた「高校授業料無償化」を取り上げ、自民、公明、維新で予算成立。この予算を見る限り、まさに自公維新は増税路線であるのが見て取れます。改革政党である維新の会が賛成するとは思ってもみませんでした。それにより、国民全体が恩恵を被る、国民民主党が掲げた減税政策（103万の壁撤廃・約7～8兆円）が実現できなかったことは、切実なる国民の声である、「手取りを上げてくれ」、特に暫定税率を廃止して「ガソリン代を下げてください」が葬り去られたわけであり、これは国民には大きな痛手であるのは確かです。  
今年からは特に、海外（特にアメリカ）や国の動きも注視しながら、堺市に提案、要望していき、少しでも市民の皆様の暮らしが豊かになるようしっかりと仕事をいたしたいと思っております。  
さて、今回のレポートは、令和7年第1回市議会定例会について私が質疑した内容をお伝えできればと思います。まず、令和7年度当初予算案について、再議の結果、原案通り可決しました。大綱質疑～予算分科会～予算総括～常任委員会と質疑をした内容を、このレポートでまとめましたので、お目通しいただければ幸いです。  
今後とも皆様のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年第1回市議会 大綱質疑 令和7年2月25日（火）  
①2025年問題、アメリカトランプ大統領就任後について、②堺市の農業政策について、質疑しました!!  
①【Q】 2025年1月20日にトランプ大統領が二度目の大統領に返り咲き、矢継ぎ早に大統領令を発動し、その中でのパリ協定離脱、脱炭素の流れが大きく変わる中、堺市の企業誘致策について質問。  
【A】 今後もグローバルな視点に立って社会経済情勢等を踏まえ、本市経済の成長・発展につながる企業投資の誘導に取り組む、という答弁。EVの例を取り、情報戦略を立てて取り組むことを要望。



②【Q】 堺市の農業振興は食料確保の観点からも重要と考える。しかし、高齢化や後継者不足などにより、担い手の確保が困難である。

【本市の総農家数→2010年は2,790戸、2020年は2,172戸と10年間で22%減少。】

担い手確保のためには、農業の将来に希望を持てることが重要。堺市の農業振興の基本的な考え方と将来像を示す質問。

【A】 「地産地消」により、堺産農産物を知って、選んで、食べていただくことが重要であり、そのため堺産農産物「堺のめぐみ」を地域ブランドとして普及する取組も進める。これらの施策を重層的に講じ、「地域経済へ貢献する農業」、「市民の暮らしを豊かにする農業」、「都市の環境を支える農業」の実現をめざす。

【提案・要望】  
都市や産業が発展するには、多彩で色んな沢山の人が集まり、そして、そこにモノ、金があつまるから発展。大胆な規制緩和が必要であります。堺市では「堺のめぐみ」を地域ブランドとして普及する取組をしっかりと進めて頂きたい。  
例えば軟弱野菜の「春菊」を例にとり、もともと春菊はビタミン、ミネラルが豊富であるが、より一層他の地域で生産しているものと差別化するように、肥料によって、より、「ビタミン、ミネラルなどの含有量が0%多くなった」と含有量が増える方法を開発すれば、他と差別化でき、ブランド力があがる。世の中健康寿命延伸で健康志向が強いので、人気が出ると思う。是非、官民学（公立大学・農学部）共同で開発するよう提案します。  
地域社会と連携し、農業の魅力を高める努力を続けることが、今後の農業発展に繋がるので、堺市の農業振興に本腰をいれて進めていくよう要望。

# 予算分科会質疑まとめ

## 3月3日（月）産業環境分科会

### ○農業担い手支援事業について

日本では2050年までには、今の農家の8割の人がいなくなっているといわれる。この減り方は尋常でなく、日本の農業は危機的な状況です。真剣にやらないと、全部海外から輸入ということになる。外国にすべての食べ物を依存する、食料安全保障上の問題。国は、農地の集約と、企業体の参入を促す方向であろうかと思われる中、本市の農業形態を鑑みると、どちらも適せないと思います。

本市は、大阪府内1位の総農家数と耕地面積、農業産出額を持つ農業が盛んな地域であり、市街化調整区域では、ため池や水田等の豊かな農空間が残され、水稻や軟弱野菜の栽培を中心に営農が行われている。

しかし、

・本市の農業の高齢化、担い手減少は全国的な問題と同様、大変深刻であります。先にものべましたが、農地の形状や立地条件等が色々ある中で、やはり現場をよく知り、その特徴をいかす、堺産農産物「堺のめぐみ」を地域ブランドとして普及する取組も進めておられる。その様な魅力発信ができれば、堺市の農業の将来に希望を持てるかもしれない。

これからも、具体的な対策を講じて持続可能な農業の未来を築くことができるよう、地域社会と連携し、農業の魅力を高める努力を続け、今後の農業発展に繋がるよう要望。

## 3月5日（水）健康福祉分科会

### ○こども誰でも通園制度について

この制度は単純に既存の一時預かり事業の代替策になってしまってはならない。本制度が本当の意味で、子どもからの視点でいい制度になるためには、保健センターとの連携は必須になると思われる。具体的には受診率がほぼ100%の乳幼児健診後の受け皿のひとつにこの「こども誰でも通園制度」を位置づけることを**提案**。

乳幼児健診後の受け皿には幼児教室等があるとは認識しているが、ハードルが高いと通所をためらう保護者もいてると認識。そのような中で地域の多くの子どもが通うこども園に「誰でも通園制度」として利用するというのは、子ども目線でもとてもいい制度になると思います。

保健センターとの調整を前向きに進めてもらうよう**要望**。

○重ねて、本市の保育人材が他市へ流出しないように、また保育士確保と定着のための様々な支援、効果的な施策を実施するよう要望する。



## 3月4日（火）文教分科会

### ○児童生徒の自殺対策について

生徒指導支援事業として、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家と連携し、いじめ、不登校、問題行動等の生徒指導上の諸課題の未然防止、早期発見・解決に向け適切な対応をする。様々な悩みを抱える児童生徒に対して、身近な通信手段であるLINEを活用し、容易に相談することができるよう相談窓口を設置。

**保護者が匿名で悩みを相談できる  
学校独自のSNSの運用を提案。**

いじめや学業のプレッシャー、家庭内の問題、精神的健康問題など、様々な要因が絡み合う中で、子供たちの命を守るためには、包括的なアプローチが求められます。児童の自殺対策は、家族、教育機関、そして社会全体が一丸となって取り組むべき重要な課題である



## 3月17日（月） 文教委員会

### ○武道教育について

子どもたちの現状は、克服すべき課題が山積しており、教育の充実、発展は待ったなしです。子どもたちの心身を充実させ、立派な大人になるために、いくつかのアプローチがある。そのひとつとして武道教育がある。武道教育において、武士道の教えが非常に重要な役割を果たし

ています。「武士道」について子供たちが興味を持ちやすい方法として漫画から入ることを**提案**。以前私は「花の慶次」という漫画で戦国時代に興味を持ったことを説明。するとその後の江戸時代や明治維新から近代史に凄く興味がわき、歴史を勉強することが楽しくなったものです。旧五千元札で、武士道の著者である「新渡戸稲造」の功績も説明。堺市の小学生全員に、マンガ本「武士道」（別添参照）

を配布した場合の予算額を示してもらい、**提案、要望**。次の議会から具体的に詰めていこうと思います。



## ◇青谷ゆきひろ市政事務所

◆〒599-8242 堺市中区陶器北-51-5

TEL/FAX 072-370-0081

ホームページもご覧下さい。



メール [sakaiaotani@gmail.com](mailto:sakaiaotani@gmail.com) <http://aotani-sakai.com>

安心安全なまちづくりでの防犯カメラ、防犯灯の設置や通学路のグリーンベルト、カーブミラーの設置など、その他なんでも、お気軽にご相談ください。宜しくお願ひ致します。